

21世紀ニユルモデル

SCOOP▶▶▶

1200連発



010

ローレルMC

XLVへの移行が決定しているにもかかわらず、ローレルにMCが施される。おそらくは小規模な変更にとどまり、XLVへの移行期にも安定した販売台数を確保するための策だろう。また、特別仕様車「ナビエディション」の装備が見直されて、お買得価格を掲げ、カタログモデルとしてラインナップに正式に加わる可能性もある。有終の美を手にして引退できるかな？

限

定100台が即日完売し、注目を集めたティーン・ハイブリッドが再販されることになった。具体的な発売時期は判明していないが、02年春にズレ込むとの情報あり。スクイープ班が入手した情報によると、テラノが生産されている九州工場のラインで組み付けが行われるという。

009

ティーン・ハイブリッド

市販版

Photo. EDITORIAL N

先に発売した限定モデルからの熟成を図っているのか、テストコースでも目撃されている。詳細をチェックしてみると、サイドストライプが縮小されていたり、設定のなかったルーフレールやサンルーフが装着されているなど、異なる部分も数多い。日産の量産ハイブリッド車が誕生する日は刻々と迫っている。

クリアレンズのリアコンビランプがハイブリッド仕様の特徴だ。パールホワイトの外板色も前回は非設定だった。



テスト中のティーン・ハイブリッドにはサンルーフとルーフレールが装着されている。